

醍醐歩道橋改善のための懇談会 検討シート

検討の視点	アンケート調査結果	第1回懇談会での意見
1. 醍醐歩道橋改善すべきかについて		
・醍醐歩道橋は改善すべきでしょうか、撤去すべきでしょうか	<p><調査結果の概要> PTAでは、歩道橋の新設を含めた改善の意見が9割を占めている一方で、沿線住民の3割が「撤去してもかまわない」と回答している。</p>	<p>・子供たちの登下校時の安全を第一に考えた場合、ぜひ改善あるいは新設していただきたい。歩道橋が無いと、もっと大変な事態になることが心配される。</p> <p>・地域住民としては、「改善する」と「撤去しても良い」という気持ちが半々である。地域住民は殆ど利用していない。</p> <p>・高齢者も上り下りが大変で殆ど利用していない状況にある。そのなかで、前提になるのが、安全と安心をどのように確保するかだと思う。</p> <p>・歩道橋がかなり老朽化し、破損していることも認識している。大型重機が国道通行中に歩道橋桁にぶつかる事故が結構ある。これから新設されても、このような事故があるものと思われる。</p> <p>第1回まとめ → 醍醐歩道橋は「改善する」</p>
2. 醍醐歩道橋改善について		
1)位置について ・位置は現在の場所でのよいでしょうか。 ・階段の方向について、どうでしょうか。	<p><調査結果の概要> 歩道橋下の歩道幅員が狭いと意見が多くなっている。さらに、小学校方面のみに階段がついていることを課題としてあげている住民も見られる。</p> <p>自由回答より ・歩道橋下の歩道部分が狭くて冬期間は危険。(沿線住民)</p>	<p>・小学校側の降口を道路側に付けたりしても、小学校以外の利用者が殆どいない。また歩道橋を自転車で利用できるようにするのは、子供たちでは無理だと思うので、あまり費用をかけずに、歩道の拡幅に併せて、現状の形状での改良するのが良いのではないかと。</p> <p>・生徒数が少なくなるのは明らかなので、将来小学校が合併になることも考えられる。そうなったなかで、歩道橋が小学校の前で良いのか。大橋交差点付近にあれば、一般の人や駅に向かう高校生なども利用できるのではないかと。</p> <p>・地域の人を考えるとやはり大橋交差点付近にあるのがよいのではないかと。</p> <p>・交差点付近に歩道橋ができる横断歩道がなくなる。そうすると今以上に危険さが増し、交通事故が増えることが予想される。秋田県としては、大きな交差点では歩道橋が撤去されている。</p> <p>・歩道橋を撤去して、大橋交差点に押しボタン式の横断歩道を設置すれば良いのではないかと。</p> <p>・少子化といわれる時代に、子どもの安全を守ることが重要ではないでしょうか。押しボタンの横断歩道では心配です。車の上を通ることで安全が確保されている事なので、学校としては歩道橋を残すことに良いのではないかと。大橋交差点の横断歩道では信号待ちの生徒が交差点付近にあふれ、積雪時は特に危険である。</p> <p>・安全と安心を考えるとどうしても歩道橋は外せないだろうし、利便性社会性を考えれば無くてもいいという考えも成り立つ。</p> <p>・歩道橋と道路の段差がついているため地域住民の利用を遠ざけている。昔、小学校前の段差は無かった。小学校までの道路改良の際に、高さの差が生じ、今の段差となった。この解消をすべきである。</p> <p>・小学校降り口の高さの差を解消するだけでも可能ではないか。</p> <p>第1回まとめ → 醍醐小学校児童の登下校時の安全性を考え、現在の位置でよい、小学校側にある車道と歩道の段差を解消し、地域住民の利用が利用できる。</p>
2)階段について 以下の改良案でいかがでしょうか。 ・幅について 現在 1.5m 改善案 2.0m	<p><調査結果の概要> 階段部の課題に対する意見が多く集中している。特に、積雪・雨天時に滑りやすいとの回答が、すべての課題の中で最も大きな課題となっている。</p> <p>自由回答より ・階段が壊れているので直して欲しい。(児童) ・階段が夜暗いので街灯を付けて欲しい。(児童) ・手摺りの高さが低い、欠けている。(児童)</p>	<p>・2mあれば十分である。</p> <p>・歩道橋の下の歩道が狭いという指摘あり、階段下の歩道は3.0m確保してほしい。</p> <p>・ロードヒーティングを設置してほしい。</p> <p>第1回まとめ → 階段・通路部の幅員は2mあれば十分である。歩道橋が設置されても、歩道3.0mを確保する。ロードヒーティングを設置する。</p>
3)橋上の歩道部分について ・現在、ロードヒーティングを行っています。さらに、雪がたまるらないため、吹雪の対策として、風よけなどを考えています。	<p><調査結果の概要> 橋上歩道部については、積雪により幅員が狭くなることを課題として掲げる人が多い。さらに、幅、冬期間の風(吹雪)による困難さが課題としてあげられている。</p> <p>自由回答より ・私も小学生の頃、この歩道橋を使って学校に通学していて、風の強い日や、吹雪の日には屋根がなくとても怖い経験をしています。これを機会に、新設にして新しくしたら良いと思います。(PTA)</p>	<p>・屋根を付けるならば道路に雪が落ちないようにしなければならない。</p> <p>・PTAとしては、屋根を付けて欲しい。</p> <p>・吹きだまりなどにより、雪が残ったり、ヒーティングが効くまで、すべりやすい状況にあることもある。現在登校時には、小学校で除雪などを行っていることもある。</p> <p>・風を遮るために、柵を高くすることもある。透明なものであればよいのではないかと。</p> <p>・防犯上からみると屋根は付けない方が良い。地下道が利用されない理由もこの防犯上の問題である。</p> <p>・景観上の問題をどのようにするかという問題が残ると思う。</p> <p>第1回まとめ → 屋根を付けて欲しいという意見もあるが、防犯上、落雪による交通への影響から、屋根は設置せずとも、防風柵を設置する。</p>
4)児童・地域に身近な横断歩道に向けた工夫 例えば、歩道橋の掃除など	<p><調査結果の概要> 歩道橋の利用者がほとんど醍醐小学校の児童である。地域に身近な施設として、小学校及び地域住民に親しみある工夫ができないでしょうか。</p>	<p>・歩道橋の内壁に絵を描いたり、地域の特色を出したり、小学生が渡るのが楽しくなるような工夫をして欲しい。学校行事を紹介するなど。</p> <p>まとめ → 醍醐小学校前の歩道橋として、渡るのが楽しくなるような工夫をして欲しい。</p>
5)その他 景観的に配慮すべき内容など		

実施方針(案)

歩道橋は「改善」それとも「撤去」 → 醍醐歩道橋は「改善する」 → 利用者は住民を主 それとも 児童を主 → 醍醐小学校児童登下校の安全性を主に考える

改善の内容

位置

- 位置 → 醍醐小学校前の現在の位置
- 昇降位置 → 4方向の必要性がなく、醍醐小学校側で、小学生と地域住民の利用を考えた2系統の出入りとし、3方向とする。

階段

- 幅員 → 現在1.5mを2.0mに拡幅 階段下3.0mを確保
- 手摺り → 高さの違う2段の手摺りを設置
- ロードヒーティング → いままで通り設置
- 照明 → フットライト(足下を照らす照明)設置
- 路面 → 滑りにくい舗装材を使用

橋上通路部

- 幅員 → 現在1.5mを2.0mに拡幅
- 手摺り → 新規に(高さの違う2段手摺り)を設置
- ロードヒーティング → いままで通り設置
- 照明 → フットライト(足下を照らす照明)設置
- 路面 → 滑りにくい舗装材を使用

防風柵の設置

階段、橋上通路部ともに、防犯上、落雪による自動車交通への影響を考え、防風柵を設置。防風柵は、防犯性、歩行者の視界確保を考え、透明にします。

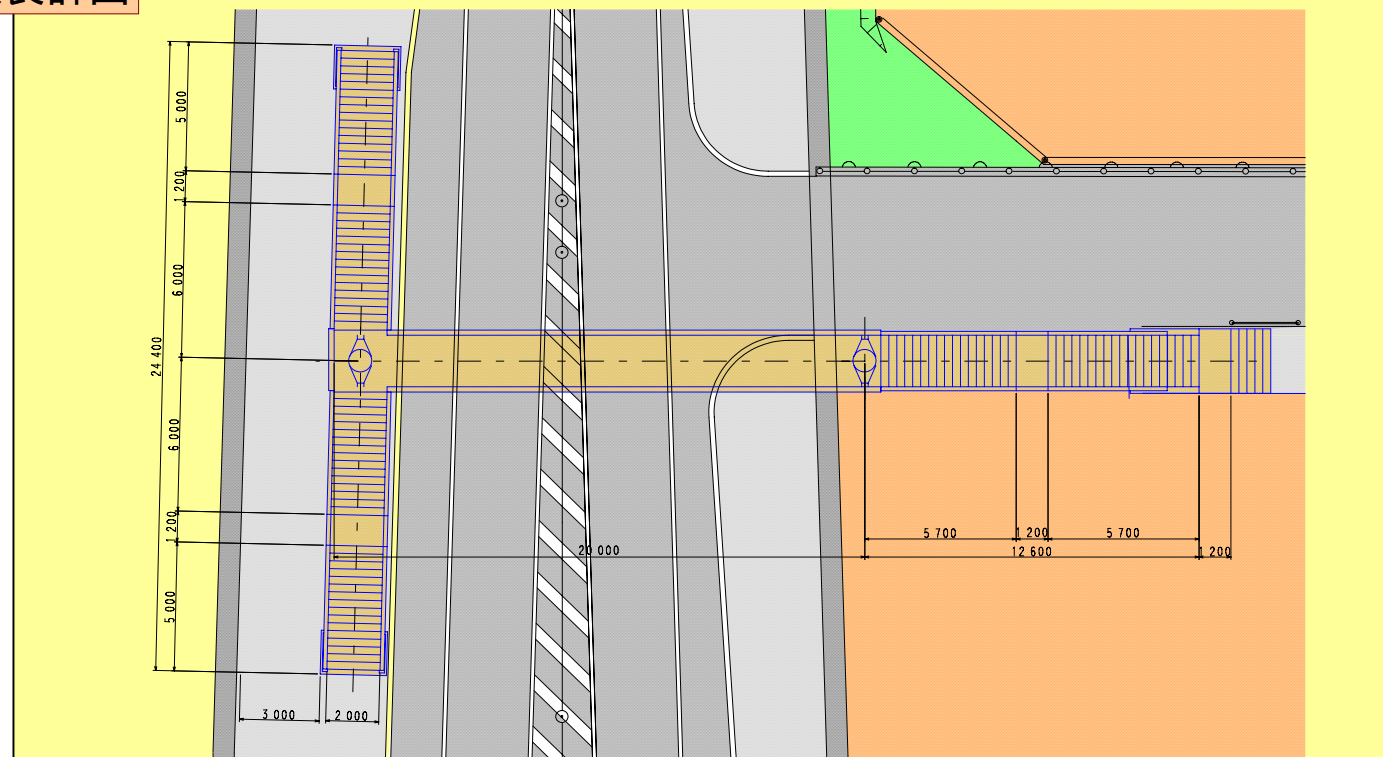
醍醐小学校前の歩道橋に相応しい何らかの工夫を行いたいと思います。

例
学校の行事告知板を設置する。
歩道橋で使用する電気を自然エネルギー(風力、太陽など)で活用し、現在の発電・蓄電量を表示する。
歩道橋の小学校内で愛称を募集する。
歩道橋の清掃を行う。など

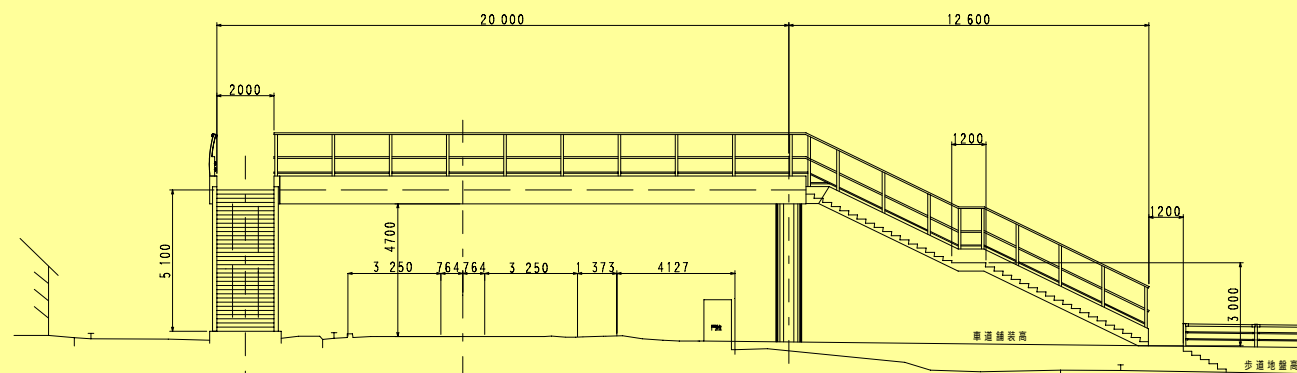
・歩道橋の色や意匠として、デザインに反映すべき地域の特徴などがあれば、その工夫を行いたいと思います。

歩道橋の位置

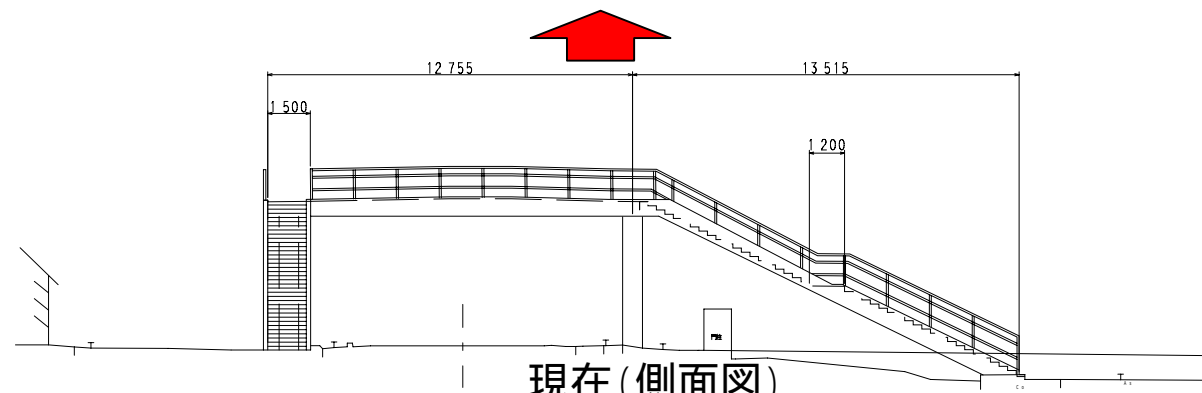
改良計画



平面図



側面図



現在 (側面図)

イメージ図



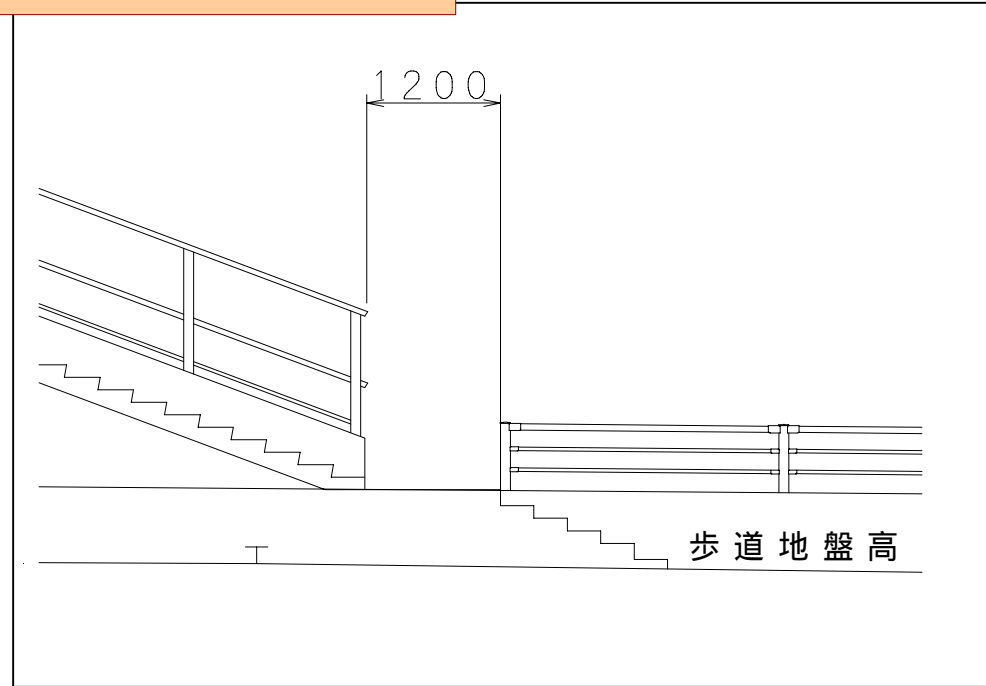
現在



学校側の出入りの状況

現在の3方向とする。醍醐小学校側では、小学生と地域住民の利用を考えた2系統の出入りとします。

学校側の出入り部イメージ図



学校側の出入りイメージ図(歩行者の視点)



現在



学校側の出入りイメージ図(自動車の視点)

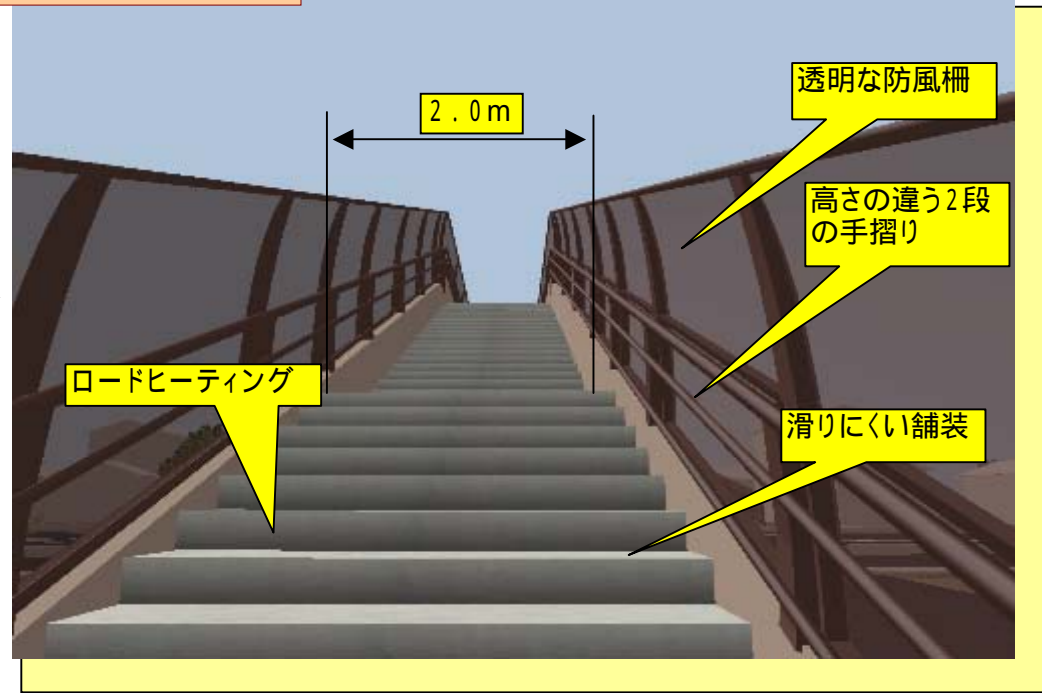


階段・橋上通路部

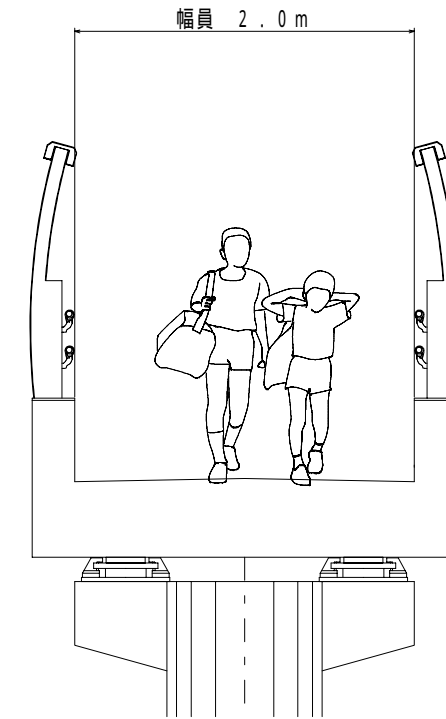
現在



階段部イメージ図



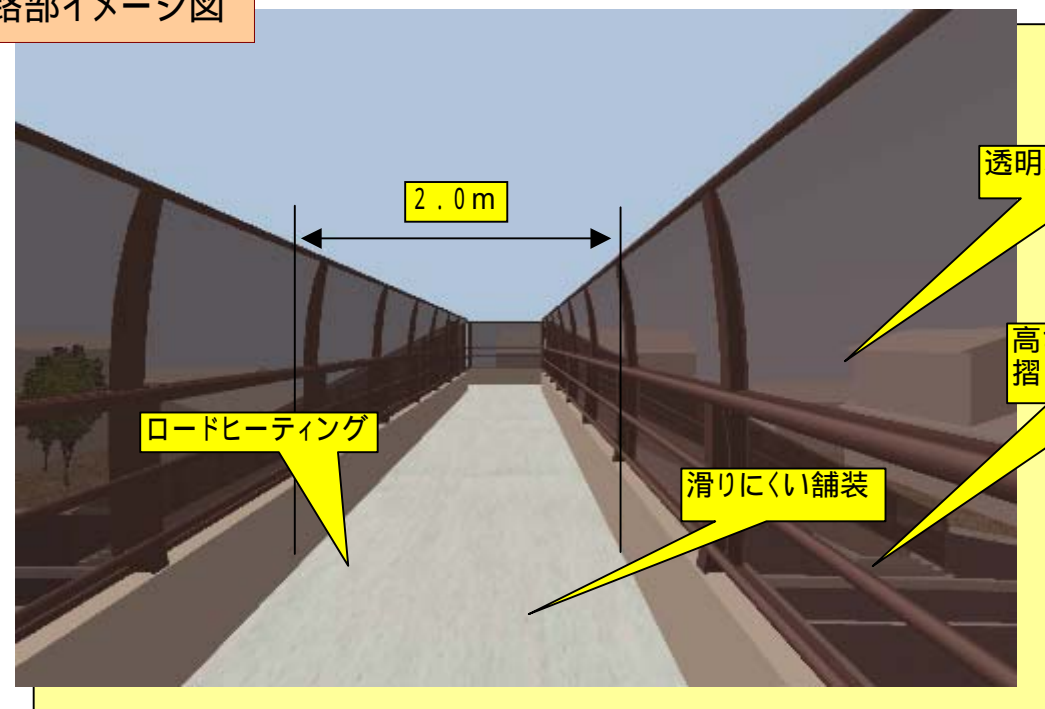
通路部幅員イメージ図



現在



通路部イメージ図



照明イメージ図

